

＜ビバリー・モーニング25-02＞第374憲兵中隊、対アクティブシューター演習を実施(1)
374 SFS responds to active shooter scenarios during BM 25-2

March 6, 2025

By Senior Airman Alexandra Gracey and Senior Airman Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

3月4日、横田基地で実施された演習「ビバリー・モーニング25-02」において、第374憲兵中隊が複数の対アクティブシューターのシナリオを想定した演習を行った。

演習で、憲兵は模擬アクティブシューターの容疑者の制圧、拘束、移送を担当した。また現場では戦術的戦傷救護(TCCC:Tactical Combat Casualty Care)も実施した。高い緊張感の中での訓練を通じて、憲兵は自身の課題を把握し、対応速度の向上や、基地の安全確保と防衛に必要な手順の徹底を図った。

(写真1) 模擬アクティブシューターの容疑者を拘束し、パトロール車に収容する第374憲兵中隊の隊員。



1

(写真2) 対アクティブシューター演習で、模擬負傷者に戦術的戦傷救護(TCCC)を実施する第374憲兵中隊のブライアン・ウッド上級空兵。

TCCCは、戦闘環境下で効率的に処置を施すための「火線救護」「戦術野外救護」「戦術搬送」3つのフェーズで構成されている。



2

(写真3) TCCCの評価を行う第374憲兵中隊デイビッド・スタンドレー曹長(左)と同中隊標準化・評価下士官主任オースティン・グリマー技能軍曹。

演習で、憲兵たちはエリアの安全確保と模擬負傷者へのTCCCを実施した。



3

〈ビバリー・モーニング25-02〉第374憲兵中隊、対アクティブシューター演習を実施(2)
374 SFS responds to active shooter scenarios during BM 25-2

March 6, 2025

By Senior Airman Alexzandra Gracey and Senior Airman Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4)3月4日、横田基地で行われた演習「ビバリー・モーニング25-02」での対アクティブシューター演習で、模擬傷病者にTCCCを実践する第374憲兵中隊のブライアン・ウッド上級空兵。



(写真5)TCCCを行った後、模擬被害者と言葉を交わす第374憲兵中隊のオースティン・ビショップ1等空兵。

高い緊張感の中での訓練を通じて、憲兵らは自身の課題を把握し、対応速度の向上や、基地の安全確保と防衛に必要な手順の徹底を図った。



(写真6)対アクティブシューター演習で、周辺を警戒する憲兵ヘクター・カバズ上級空兵。

